


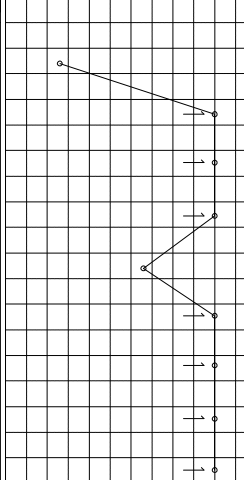



土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 一級河川 太田川水系 桐原川支川22外 通常砂防事業に伴う業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 砂防 構造物基礎

ボーリング名	BorNo. R2-BT-4	調査位置	広島県広島市安佐北区可部町桐原 地内	北緯	34° 31' 46.7777"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和2年12月 7日～ 令和2年12月 9日	東経	132° 31' 35.8968"
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コ	ア	鉤	定	者	
ボーリング責任者					
孔口標高	T P 108.56m	角	180° 上 0° 下 0°	方	0°北 270°西 0°東 90°南 180°
総削孔長	9.33m	度	0°	向	0°水平 鉛直 90°
地盤勾配		使用機種	試錐機 YBM 1WA型	エンジン	ヤンマー TF90V-E型
ポンプ	YBM GP-5型				

標尺	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験					試験採取			室内試験	削孔月日					
											深 度 N 値 (m)	100mm毎の打撃回数			50回の貫入量	自沈時の貫入量	深 度 (m)	試料番号			採取方法				
												0	100	200											
	107.76	0.80		礫混り砂		暗褐	rd2		現世土石流堆積物(浜床堆積物) ・礫はφ20-40mm程度の中-粗礫が混入 ・砂は細-粗粒砂から成り粒径幅広い	0.50		13	1.15	4	5	4	13	300							
1				砂質土		暗褐	rd4		土石流堆積物(完新世崩積堆積物) ・場所的に基盤地質起源の原岩組織の残留する風化岩塊及びクサリレキが点在 ・φ2-10mm程度以下の細礫及び鉱物片を伴い粒度不均一 ・砂は細-粗粒砂から成り、粒径幅広く細粒分を伴う ・基質支持の掃流状を呈す		50以下	2.15	12	18	20	50	280								
2											50以下	2.43													
3											50以下	3.15	27	23	50	170									
4											50以下	3.32		76	170										
5											50以下	4.15	16	24	10	50	250								
6	103.06	5.50		花崗岩		淡褐			中粒弱斑状黒雲母花崗岩強風化岩(DH) ・風化変質が進行し岩質は軟質化 ・原岩組織は明確に残存 ・採取試料は土柱状を呈すが脆く、指圧で凹むうえ容易に圧潰可能 ・GL-5.50-5.70m間、低角度で黄灰色の熱水脈を認める		33	5.15	7	12	14	33	300								
7											50以下	5.45													
8											50以下	6.15	38	12	50	150									
9											50以下	6.30		50	150										
10											50以下	7.15	50		50	90									
11				花崗岩							50以下	7.24	90												
12											50以下	8.15	21	29	50	170									
13											50以下	8.32		76	170										
14											50以下	9.15	22	28	50	180									
15											50以下	9.33		86	180										